

朝は、学校を7時20分に出発して、西町通りに向かう。通りに向かうまでには、中学生や地域の方や交通安全ボランティアの方に出会うことが楽しみ▼その後、自分にとって理想のルーティンは、西町通りを通ってくる通学班が3つ。途中で2つ。国道の横断歩道で2つ。鳥坂の下で1つ。その北側に2つ。鳥坂を登り校門の手前で4つ。その後、保護者の方に送ってもらう子数名に出会うことである。時間がぴったり合えば、物理的に可能である▼それでもたいてい8つぐらいの通学班と数名とは出会うことができる。目的は交通指導というよりは、顔を見てあいさつをするということにある。名前を呼んで挨拶したいが、それでは、子どもたちの歩くスピードについていけない▼通学班のあいさつの元気のよさは、先頭の子のモチベーションに影響を受けやすい。朝のあいさつは団体戦かもしれない▼子どもがあいさつをしないという声を時々聞く。そうかもしれないが、わたしはそうは思わない。こちらからあいさつをした時、それに答えてくれない子は、ほとんどいない▼大切にしていることは出会った人に、子どもたちに元気に自分からあいさつすること。ふと、それが逆転する日がある。「つながった！」喜ぶべき瞬間。だから今日も子どもの笑顔を求めて西町通りに向かう。